

通って・訪問して・泊まれる24時間365日 生活丸ごと支援

# 星が丘ホーム 通信



- 発行: 2024. 11. 10 NPO「福祉ネット星が丘」
- 連絡先: 神戸市垂水区星が丘 3 丁目 2-23 電話・FAX 078-708-3244
- e-mail: [hosi3223@circus.ocn.ne.jp](mailto:hosi3223@circus.ocn.ne.jp)
- URL: [https://peraichi.com/landing\\_pages/view/hoshigaokahome](https://peraichi.com/landing_pages/view/hoshigaokahome)

## 新型のレプリコンワクチンって?

今年の夏は、異常な暑さが続きましたね。朝晩やっとしのぎやすくなりました。街中に秋祭りの、のぼりが郷愁を誘います。郵便局前で繰り返されるだんじりの囃子拍子・太鼓の勇壮な音色と共に、毎年同じ場所、同じ時に、心ワクワク参加していましたね。

今年はホーム利用の三名は天井の光の中から、私たちとともに参加される事でしょう。日々、命の現場で奮闘している私たちは、利用者さんらの最後のステージを、輝かしきものと願っています。

星が丘ホームの健康管理体制は、この数年間の罹患者の少なさが証明しています。新しく開発された「レプリコンワクチン」は賛否両論はもとより、「入店拒否」及び「診察拒否」宣言すらされている所もあります。

また従来型のワクチンですら深刻な副反応が発生して安全性が問われています。長期的な安全性はと問われれば、世界で初めてですので、日本の動向で世界が判断するのでしょうか。「日本人は実験材料？」って思われても致し方なし状態？治験で確認できなかったことが、起きる可能性は否めないでしょうね。

星が丘ホームでの、この4年間の実践の中で、見えてきたことは免疫力を付けることにつきます。平熱は37度に近い36・5以上を維持します。そのためには、当たり前のことですが、バランスの良い食事の摂取ですね。適度な運動習慣も大切です。一人暮らしの方も含めて、努めて人との交流を深めてコミュニケーション能力を高める事も必要です。ストレスをためないことも大事ですね。

皆さん！罹患者の出ない環境づくりの現場を見学に来てください。あらゆる環境グッズや健康管理計画の個別対応の相談にも応じます。何より何よりセルフケアで、改善できることが山ほど提案できます。健康でなければ、充実した人生は望めません。国家が私たちを守ろうという姿勢が見えにくい時代だからこそ、助け合いましょう！

## 今月のエッセンシャルオイル活用術

星が丘ホームではスタッフが自身の健康理念(ウェルネスピラミッド)に基づいた体調管理利用者さまの体調管理のツールに自然の植物の力を取り入れています。癒しや香りだけを楽しむだけでなく理念である「食は命」にも注目をした時健康をフォーカスして作られたエッセンシャルオイルを使用しています。

今月は『ヒノキ』のご紹介

日本特産のヒノキから抽出されるオイルは、林業から出た間伐材や廃材を活用することで貴重なヒノキの木が無駄にならないようにしています。肌をなめらかに整え、さわやかで軽くすっきりとしたリラックスできる香りは、気持ちを落ち着かせてくれます。

☆就寝前にディフューズしたり、足、背中、胸元に塗布して心地よい眠りを。

☆浴槽に2〜3滴入れ、心身ともに安らぐバスタイムを

☆床や木製品の仕上げ磨きに使って清潔に。

☆手の平に落としてすりこみ、深く香りを吸い込んでリラックスして落ち着いた気分。

☆いつものスキンケアに加えて、やわらかくしなやかな肌づくりを。

より詳しい使い方は書籍「アロマで介護」

をご参考になさってください

★星が丘ホームではアロマ介護士が常に常駐しています  
(気になる香りや効能、セラピー体験随時受付中)

詳細はホームに問い合わせてください。)

☆フェミニンアロマについて

※紙パンツの弊害を軽減するため

9種類の精油をブレンドしたフェミニンアロマを使用しています。

興味のある方はどうぞご連絡くださいませ。

☆好評中です☆

誰でもできる『アロマクラフト』講座予約受付中です。(講座費 1500円)

『介護アロマ、CBD研究会(お食事込み)』

毎月第3土曜日 18:30~参加費 1000円

場所 星が丘コミュニティサロン3階(星陵高校前。どなたさまもお気軽にご参加ください)

## シェアハウス開設のための 寄付のお願い

阪神・淡路大震災から30年目を迎えました。

私たちはより切実な介護支援を痛感し、多くの皆様方の支援により星が丘ホームを24時間365日運営し、25年年目を経過しました。

障がいの種別・世代を超え、ケアを必要とされている方に必要なサービスを制度のあるなしにかかわらず、この間実践を積み上げてきました。

たび重なる介護保険法の改正により、安心して暮らせる土台が、崩されてきています。生活弱者のシェアハウスの必要性が高まってきました。「互いに助け合いながら地域で生き抜く！」

互いの潜在能力を活かしながら、地域のより多くの方々を支援する場を目指しています

是非とも、物件の提供及び、ご寄付の重ね重ねのお願いをいたします。

(一口1万円以上のご寄付の方はホームだよりで紹介させていただきます。)

振込口座 ゆうちょ銀行 14390-96626101

# 星が丘ホーム恒例 見にmini大人の遠足兼スタッフ研修 in 京都編



閑雅庵の普茶料理。

ランの花の天ぷら、秋の栗の、素麺のイガを被って揚げたお料理。時節にあったものを美味しく美しく、利用者さんにお食事、おやつを提供をする時の盛り付けに生かしてみたいと思いました。日常とは違う、景色、空気。その変化は利用者さんの生き生きとした動き、表情に現れます。毎日、なにがしかの喜び、楽しみ、変化のある星が丘ホームを目指したいと思います。

(K.K 介護士 67歳)



## 京都の普茶料理

盛り付けに見た目も楽しめ、舌で楽しめたお料理で出てくるとたびにウキウキしました。同行した利用者さまも完食なさったことにも驚きました。細見美術館で春画鑑賞。日本の文化に触れました。細かい描写に色彩も鮮やかで綺麗でした。茶場者が多いことにも日本の文化のすばらしさを感じました。同じ読み物でも漫画ミュージアムでは昔懐かしい漫画から現代の漫画まで国際的にも人気の高さが感じられた。

(H.F 介護士 66歳)



## 1日目の

普茶料理をいただいた閑雅庵の入り口からお部屋やトイレまでの段差や廊下を、普段車椅子を使用されている利用者さんが、車椅子から降りて歩いて行けた事、ホームの提供以上の量の食事を完食され、旅行の体験はこの他にも沢山の効果を感じ、利用者さんにとっても自信や旅行へ行く目標になる励みに繋がる体験だったのかなと思いました。夜、平塚らいちよさんの本をみんなで朗読。女性の人権や地位向上、独立を訴えより良き未来を目指して活動された様子が印象に残りました。本の最後に書かれていたらいちよさんの言葉に「わたしは絶望しない」の強い意志、多くの方を勇気づけ、当時の厳しい状況下におかれていた女性達の励みになったことと思い、現代を生きる自分達にも心強く感じました。

## 2日目のスタッフのみで

細見美術館、京都国際漫画ミュージアム

日本の文化、芸術が海外からも高く評価され成り立ちや歴史にふれるいい機会になりました。

尋常小学校の教科書や歌唱本も展示されており、内容が戦時色がだんだん強くなり戦争が当たり前になっていくさまを、まさに利用者さんの生きてこられた時代にふれた思いでした。この時代を生きぬいてこられた利用者さんと共に日々過ごさせていただくなかで、自分らしくいきいきと過ごして頂く為にも、自身の健康を維持し携わっていきたい。

(K.S 介護士 44歳)



「星が丘ホームと八重ママ」  
YouTubeにて日々の過ごしを  
お届けしております。